

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野産ホップ生産と麦芽栽培による遊休荒廃農地活用事業
事業主体 (連絡先)	安曇野産ホップを生産する会 安曇野市堀金烏川5699-1
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	537,195円 (うち支援金: 406,000円)

#### 事業内容

遊休荒廃農地解消策と生産会員増加を目指し、本年度はビール原料となるホップの生産技術の向上と圃場の基盤整備を進めてきた。並行し二条大麦の麦芽試験も行う、ホップ棚の見学も含めた収穫祭の実施も試みた。

- ・生産技術指導講習の開催 (5月下旬、H30年3月)
- ・ホップ棚設置工事 (6月上旬完了)
- ・防除等作業～収穫作業 (約20名の作業)
- ・ホップ収穫地ビール祭の開催 (約300名)
- ・二条大麦収穫 (8a 約250kg)、麦芽試験加工



【ホップ収穫祭メイン会場風景】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①本年2年目で本格的な収穫は3年目となるが、追加定植により収穫約23kg、乾燥約6kgまで増やした。今後も3年目の目標となる乾燥10kgを目指すため、生産技術の向上と持続的な事業体制、基盤整備を進める。
- ②二条大麦は寒冷地で不向きとされているが、本年度試験栽培で約250kgの収量を上げたため、目標の30aに近づけるため、秋播を含め荒廃農地30a達成を試みた。
- ③会員の増減があったが、若い農業者を中心に昨年より3名増加できた。会員以外でも企業や地域との連携を深め、賛同いただく取組みを進める。
- ④初めて開催したイベントで約300名の参加があり、間近で見る圃場見学や収穫など参加者から好評であった。この場所での特徴を活かした企画PRを続けていきたい。

#### 【目標・ねらい】

- ①栽培、作業効率の向上
- ②遊休荒廃農地活用面積の増加
- ③本会員数の増加
- ④ホップ知名度の向上

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

- ・二条大麦の収穫により麦芽加工まで進めることができ、ホップも目標通りの収穫水準に達した。
- ・二条大麦の栽培成功により、遊休荒廃農地の拡大に繋げることができた。
- ・若い農業者中心に会員を増やせた

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、ホップも生育期に入り、技術的な部分から作業効率面での取り組みが重要となってくる。会員の拡大と並行して、これまで構築できた関係者との連携も強化しながら、最終商品の開発についても事業者と連携し進めることで、収量増にも繋げるため遊休荒廃農地の利活用を進めていく。また、引き続きホップを核とした地域内活性化の取組みも行っていきたい

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある